

グループ中期経営計画（2013～2015年度）

2013年5月10日



目次

1. 中期経営計画策定の背景	3
2. 中期経営計画の方針	4
3. 機械・プラント事業計画	5
4. 物流システム事業計画	9
5. 連結業績目標	13
6. 利益配分の方針	14

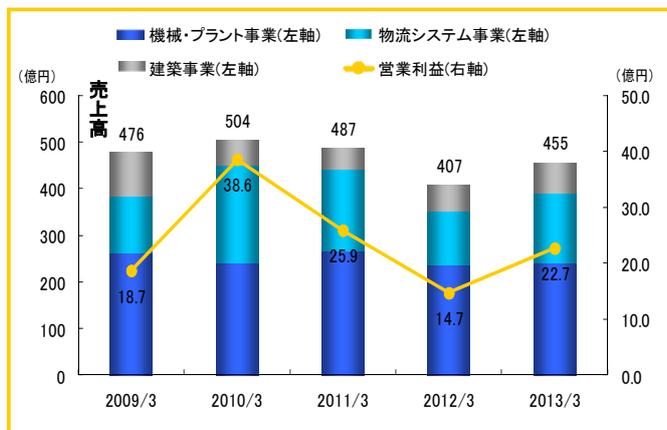
1. 中期経営計画策定の背景

直近5年間の業績推移

- ・2010/3月期営業利益は過去最高水準。
- ・機械・プラント事業は概ね堅調に推移。
- ・物流システム事業は設備投資動向に左右され、好不調の振幅大。

(単位:億円)

		最高	最低
機械・プラント事業	売上高	267	236
	営業利益	25.2	17.7
物流システム事業	売上高	209	116
	営業利益	10.6	▲7.3



「中長期的な安定収益の確保」が課題。

3

2. 中期経営計画の方針

グループ経営ビジョン

安定した収益体質を有する企業グループの確立

グループ経営方針

顧客の信頼を基本として、
安定した受注・売上・利益の確保

1. 新設・メンテナンス両分野の営業力・提案力の強化
2. 人材力・技術力の向上と信頼性の高い製品・サービスの提供
3. 協業等の推進による機能の強化と総合力の向上

4

3-1. 機械・プラント事業計画

事業概要

機械・プラント事業は1950年に全溶接石油タンクの建設を開始し、石油タンク、球形タンク、LPGタンク、LNGタンク等、現在までに国内外に約5,700基のタンクを納めてまいりました。
タンク専門メーカーとして日本で第1位、世界で第2位。



極低温LNGタンク



低温LPGタンク

5

Copyright © 2013 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トヨカネツ 株式会社

3-2. 機械・プラント事業計画

事業環境

■ 海外

- ・世界的なエネルギー需要の増大により、プラント建設市場は活況。
- ・特に、クリーンエネルギーとしてのLNG需要は増加。

■ 国内新設

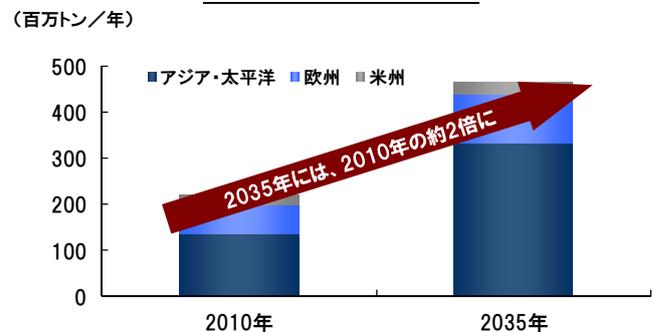
- ・LNG需要の増大によりLNG受入基地の新增設計画が進行中。

■ 国内補修

- ・消防法改正に伴う石油タンクの浮屋根改修需要が安定的に発生。

市場動向

世界のLNG需要展望



資料出所: (財)日本エネルギー経済研究所

LNG及び補修案件の引合は活発なものの、とりわけ価格競争が激化。

6

Copyright © 2013 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トヨカネツ 株式会社

3-3. 機械・プラント事業計画

重点施策

- ① 営業力の強化と受注スキームの最適化
- ② 品質・コスト・納期管理の更なる進化
- ③ コスト競争力の強化に資する設計・加工・工法の技術開発
- ④ 現場教育と技術・技能の継承によるプロ人材の早期育成
- ⑤ 協業等を活用した営業・技術・生産・施工機能の補完・強化

安定収益基盤の確立

7

Copyright © 2013 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トヨタカネツ 株式会社

3-4. 機械・プラント事業計画

業績目標

目標：本計画期間(2013~2015年度)3カ年平均値 営業利益 15億円

(単位:億円)	本計画前 2011~2012年度 2カ年平均値 (実績)	本計画期間 2013~2015年度 3カ年平均値 (計画)	本計画期間 単年度 (チャレンジ目標)
売上高	238	220	250
営業利益	18.6	15.0	20.0
営業利益率	7.8%	6.8%	8.0%

【特記事項】

- ・大型プロジェクトの売上が端境期となるため、売上・営業利益とも前2カ年平均値に比しやや弱含みで推移。
- ・LNGプラント建設案件の引合は引き続き活発なことから更なる受注強化に取り組むとともに、受注済プロジェクトの円滑な遂行により収益の上積みを図る方針。

8

Copyright © 2013 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トヨタカネツ 株式会社

4-1. 物流システム事業計画

【事業概要】

物流システム事業は1955年以来、コンベヤを手始めにコンピュータシステムを駆使した物流センター設備を主力製品とし、特に生協個配センター、空港手荷物搬送設備においては圧倒的なシェアを獲得しています。最近では、ネット通販、集配金、電子部品製造業等の新規顧客向けにケース自動保管システム「マルチシャトル」を組み込んだ庫内搬送設備等を納入するなど、市場より高い評価を得ております。



マルチシャトル



SPD III

9

Copyright © 2013 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トヨカネツ 株式会社

4-2. 物流システム事業計画

事業環境

- 生協
 - ・生協市場の回復も見込まれる中、取扱い品目拡大等多様化するニーズへの対応が急務。
- 空港
 - ・航空需要の増加やLCCの新規参入等を踏まえたターミナルの整備・更新計画が複数進行中。
- 卸・小売・量販、3PL
 - ・少子高齢化の進行やライフスタイルの変化をはじめ、インターネットの利便性向上等もあり、通販、ネットスーパー市場の拡大が顕著。

市場動向

通販市場規模



出典：(社)日本通信販売協会

需要は堅調なもの、競争環境が厳しく、価格競争が激化。

10

Copyright © 2013 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トヨカネツ 株式会社

4-3. 物流システム事業計画

重点施策

- ①メンテナンス子会社との**一体経営**による**総合力の発揮**
- ②**成長市場**を見据えた**戦略的技術開発**と**魅力ある製品の投入**
- ③**成長市場**をターゲットとした**マーケティング**及び**提案力の強化**
- ④**協業等**を活用した**営業活動の推進・強化**
- ⑤**設計・生産調達改革**と**プロジェクト対応力の向上**
- ⑥**成長を支える人材力の底上げ**と**基礎技術・スキルの向上**

安定収益基盤の確立

11

4-4. 物流システム事業計画

業績目標

目標：本計画期間(2013~2015年度)3カ年平均値 営業利益 **6億円**

(単位:億円)	本計画前 2011~2012年度 2カ年平均値 (実績)	本計画期間 2013~2015年度 3カ年平均値 (計画)	本計画期間 単年度 (チャレンジ目標)
売上高	133	150	160
営業利益	▲2.5	6.0	8.0
営業利益率	—	4.0%	5.0%

【特記事項】

- ・前2カ年平均の営業赤字要因となった新設工事の低採算案件は、その大半が完工。
- ・メンテナンス部門収益の拡大に加え、受注・提案力の強化や技術・製品力の向上、設計・生産調達改革、人材の育成、協業等の推進により、安定的に黒字を確保できる事業構造の定着を図る方針。

12

5. 連結業績目標

連結業績目標

目標：本計画期間(2013~2015年度) 3カ年平均値 営業利益 **23億円**

(単位:億円)	本計画前 2011~2012年度 2カ年平均値 (実績)	本計画期間 2013~2015年度 3カ年平均値 (計画)
売上高	431	440
営業利益	18.7	23.0
営業利益率	4.3%	5.2%
経常利益	20.9	25.0
当期純利益	11.2	15.0

13

Copyright © 2013 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トヨタカネツ株式会社

6. 利益配分の方針

配当及び自己株式取得方針等

		2013年3月期 (予定)	本計画期間(2013~2015年度)の 利益配分の方針
配当	1株当たり配当額	4円	安定配当を基本とし、単年度業績だけでなく、 中期的な業績見通しや財務状況等を総合的に 勘案の上、決定する方針。
	配当性向	31.9%	
自己株式	取得額	804百万円	中長期的な株主還元策として、財務状況等を 勘案の上、弾力的に取得する方針。

14

Copyright © 2013 TOYO KANETSU K.K. All Rights Reserved.

トヨタカネツ株式会社

お問い合わせ先

お問い合わせ先

トヨタカネツ株式会社 管理本部 経営管理部

TEL:03-5857-3333 FAX:03-5857-3170

本資料に記載されている計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、
種々の前提に基づき策定したものであり、将来の業績等を保証するものではなく、
今後様々な要因により変動する可能性があります。